

U 協 近 畿 通 心 ～ U 協 を 使 い 倒 し ま し ょ う ～

【はじめに】

近畿事業推進部の川畑です。

今年も師走ですね。本当に早いですね。

新型コロナ禍でのあつという間の1年でした。どんな1年だったでしょうか。1年の締めくくりの月ですね。

良い締めくくりで新しい年を気持ちよく迎えたいですね。

新型コロナもかなり感染者数が減ってきて、何とかこのまま収束してくれるといいなと思っていたら、南アフリカ由来のオミクロン株というのが広まっています。ワクチンの効果を低下させる可能性があるとのことで、WHOは「懸念される変異株」に指定しました。香港、イスラエル、ベルギー、イギリス、フランスでも発見され、南アフリカが新変異株発見を11月26日に発表していました。日本政府も26日に、南アフリカや周辺国ジンバブエなど計6カ国に対する水際対策を強化すると発表しました。英国やイスラエル、シンガポールなども相次いで入国や渡航の規制強化を打ち出しました。

今回の対策は政府対応が早かったですね。これはいいことですね。

水際対策も効果のある方法で具体的にしっかりやって欲しいです。

この影響で日本株価が約千円暴落、ダウが約千ドル暴落の世界同時株安の様相ですね。慌ただしい師走になりそうです。

第6波やオミクロン株感染拡大とならないように気を緩めず、引き続き自分でできる感染対策をしっかりやっていくことがとても大事ですね。

今月も「U協近畿通心」愉しんで頂けると幸いです。



昨年10月から毎朝参加しているBBTのアウトプット。何と11万投稿目が私でした。ご褒美にBBTルーティンTシャツ頂きました。

【あの会員特典！ 使っていない手はないですよ】

2017年に大前さんに学ぼうを始めて、たくさんの方にご参加して頂いています。

2020年からは新型コロナ禍でオンラインによる開催に切り替えました。

オンラインの力は凄いもので、昨年から今回の募集までで約1,700名の方からお申込みを頂いています。

大前さんに学ぼうに参加して頂いている会員様になにか特典をご提供できないかとBBTさんとこれまで検討、折衝を進めてきました。

この度、あの大前研一さんが率いるBBTの研修プログラムが当協会会員様に**会員価格**で提供して頂けることになりました。今回は、BBTさんと当協会の方でみなさまの事業経営に役立つ「**経営者講義**」19講座と「**参加して学ぶビジネスアウトプットGYM**」をご用意いたしました。**当協会の会員様は1割引**でご提供いたします。

内容等は各支部のトップページにある上のバナーをクリックしてください。

また、今回ご利用頂いた方（近畿6支部会員様のみ）に「**DX革命**」（大前研一著）を差し上げます。ぜひ、この機会にご利用ください。

この本も大変経営の参考になる本でお勧めです。



こちらをクリックしてもいけます。↑
ハイパーリンクという仕組みを使っています。



先月は第86回「お客さまに寄り添う」（2021.04.21）をご紹介しました。いかがだったでしょうか。今回は第87回「物言わぬ目の表情」（2021.5.17）をご紹介します。

昨年来、こんなに人の「目」を意識的に見たことはありませんでした。何しろ顔の半分はマスクに覆われて、目しか出ていないのですから。古来「目は心の窓」と言われ、目が語る言葉、目が伝える情報は、時に秘めやかに心の内を伝えることもありました。人間理解にとっても欠かせぬツールだったのです。ところが、コロナ禍で出会う人々の目は、意外なほど表情に乏しく無口でした。今回はこの「目の表情」を題材に選びました。

目が語らなくなった

カラフルで派手なマスクが増えました。それは急速にファッショナブルとなって、顔半分のアピール力を競い合っているのです。残り半分の「目」はどうなっているでしょう。

「目は口ほどにものを言う」という格言が古くからあります。「口は嘘を言うが目は決して嘘は言わない」とも言います。「眼光紙背に徹す※」「目ぢから」など、目の持つ力は古来より高い評価を受けていたはずですが、ところが、これほど大きな力を持つ目の表情を、私たちは失いつつあるように思います。**目が語らなくなったのです。**

目だけで判断する人の印象が、いかに頼りないかをつくづく思います。マスクをしたままの初対面の人ですと、まず次に会った時には認識できないでしょう。テレビに登場する人も皆マスクをしたままです。発言者の表情全体が見えないと、これほどもどかしい思いをし、欲求不満に陥るものかとその都度思います。「一度でいいから、ほんの一瞬でいいから、マスクを外して顔全体の表情を見せてくれませんか」と言いたくなります。それをマスク時代のマナーにして欲しいと願わずにはいられません。

※眼光紙背に徹す：書物に書いてあることを、表面だけでなく深意まで理解することのたとえ、読解力に長けていること。

目を合わせることに苦手だった

もともと日本人は目を合わせることに苦手だと言われます。目を合わせて話をする率は日本人は30%、欧米人は65%という数字を読んだことがあります。

かつて、東京の女子大学で教えていた時のことです。30人ほどのクラスでしたが、私の講義を聴く時に、ほとんどの学生が下を向いていて私の顔を見ないのです。質問すると答えから聴いてはいるのでしょう。それでも中に3、4人、常にしっかり私の顔を見て聴く学生がいました。その受講態度を褒めて、理由を訊いたことがあります。「『人の話を聴く時には、**しっかり顔を見て聴け！**』と父に言われました」彼女たちは、皆そう答えてくれました。

目を合わせることに慣れる

人と人との出会いは、視線を合わせることから始まります。それは**コミュニケーションチャンネルの開設**です。相手を認めた証左になります。

ところが、現実にはマスクから見えている目は、聴いていない、語ってこない、だから印象にも残らないのです。でも今が目復権のチャンスです。もともと目を合わせる習慣が乏しい日本人は、目を合わせることは照れくさいのでしょうか。であれば、まずは両目を合わさずに片目だけ見てください。照れくさは半分になるはずです。そこからもう一歩積極的にアイコンタクトをして、相手の目から読み取れる情報を探ってください。顔の表情全体で理解し合うことのできない今だからこそ、**目で聴き、目で語る事が大事になってきます。**

目で喜怒哀楽を伝える、目で詫びる、目で関心を伝える、目でイメージする、目で判断する。

そして、それらの感情を目の表情で伝えるだけではなく、目から読み取るのです。デジタル時代、**万能に見えるAIが当分はたどり着けないのが、電話における「声の表情」と、対面でのこの「目の表情」**ではないかと私は思っています。この2つの表情は連動しているのです。

見つめる視線のトレーニング

テレビ、パソコン、スマホばかり見て育った世代は動体視力が低下し、生き生きとした目の輝きが失われる傾向にあると聞きます。**目ぢからの回復には、力を入れて瞬きをする。目を大きく見開く。にらめっこも大事なのだそうです。**しっかりと凝視する感覚をつかむと照れがなくなります。その修練はコロナ後にも生きてくるでしょう。対面で挨拶する、真剣に聴く、特定の人に伝える、皆さんにではなく同席者個々に挨拶する、それらの場面での力強いアイコンタクトが、凝視のトレーニングで生きてくるはずです。

心を可視化して表現できるのは目だけです。人は命を目に表し、死と共に目を閉じます。

【ユーザ協会の得意技！ こんなICTの紹介をしています。へ～え そうなんだ。】

今回は「インターネット検索サービスの今《第5回》」（2021.8.12）をご紹介します。

キーワードを一つ入力するだけで、膨大な情報の中から、ほしい情報を瞬時に見つけてくれるインターネット検索。パソコンでも、スマートフォンでも、使わない日はありません。大変便利で、なくてはならないツールの一つです。

今回は、そのインターネット検索についてあらためて整理し、これから注目したい検索サービスについても取り上げます。

多くの人が利用している「Google」と「Yahoo!」

今、日本国内の多くの人々が、パソコンやスマートフォンでのインターネット検索でGoogleまたはYahoo!を利用しています。この二つの検索サービスだけで90%以上のシェアがあるとも言われています。

特に「Yahoo!」は、日本でそれほどインターネットが普及していない頃から親しまれてきました。検索だけでなく、ショッピングやオークション、フリーメールなどさまざまなサービスが展開され、ブラウザを開けばまずYahoo!が表示されるように設定しているという方も多いのではないのでしょうか。

そして、世界で圧倒的なシェアがあるのが「Google」です。日本においてもダントツの利用数で、Googleで検索することを、“ググる”とか“Google先生に聞いてみよう!”と言ったりするほど、検索サービスの代表として定着しました。

かつては、GoogleとYahoo!では検索エンジンが異なっていたり、Yahoo!ではカテゴリーごとに分類された中から情報を検索するディレクトリ検索が導入されていたりしましたが、今ではそれもなくなり、**Yahoo!の検索でもGoogleの検索エンジンを使っていることもあって、ほとんど検索結果に差がなくなりました。**

これからの検索サービス

過去にはさまざまな検索サービスがありましたが、徐々に淘汰されました。

さらに、Googleの検索エンジンを採用する検索サービスが増え、得られる検索結果にも大きな違いがなくなってきました。そんな中、検索サービスは、検索結果以外のところで、少しずつ個性を出してきています。

NTTグループのNTTレゾナントが提供している検索サービス「goo」では、**自然保護に役立つ「緑のgoo」**が展開されています。緑のgooで検索したり、ニュースを見たりすると、そこから生まれた**収益の一部が環境保護活動に寄付**されます。**利用者は無料で参加できるので、手軽に始められる社会貢献活動**と言えます。

これに似た取り組みは海外の検索サービスにもあります。「Ecosia」という検索サービスです。約45回の検索で1本の木が植えられると言われており、検索結果画面にはこれまでに何回検索したかが表示されるようになっていきます。iPhoneのブラウザ「Safari」では標準設定できるようになっています。

また、情報セキュリティに配慮された検索サービスも注目されています。「DuckDuckGo」という検索サービスは、利用者のプライバシー保護に力を入れており、「利用履歴などを記録しない」としています。多くの検索サービスでは利用履歴を使って、表示ページに関連した広告が表示されます。利用者はそれを不安に感じたり、煩わしく感じたりすることがありますが、同サービスではそれがなくなります。このDuckDuckGoもiPhoneのブラウザ「Safari」で標準設定が可能です。

そして、徐々に利用者が増えているのが、マイクロソフトが提供する「bing」です。これは、同社が提供するブラウザ「Edge」に標準設定されていることから、「Internet Explorer」に代わってEdgeの利用が増えるにつれ、bingの利用も増えていくでしょう。

検索サービスを使わない情報収集

インターネット上に公開されている情報を広く検索する場合には、ここまで挙げたGoogleやYahoo!などの検索サービスを使うのが一般的ですが、今、**若者を中心に、「Twitter」や「YouTube」、「Instagram」でほしい情報を収集するスタイルが増えています。**

「今話題になっている面白い情報がほしい」「自然災害や交通状況などの情報が早く得られる」「画像や動画のほうがリアルな情報で理解しやすい」といった理由からSNSでの検索が使われているのですが、一般の人の情報には誤った情報やフェイクニュースなども含まれ玉石混淆であることを忘れてはいけません。

従来からの検索サービスとSNSでの検索とをバランスよく併用し、検索結果を基に、自分自身で正しい情報と判断し受け止める情報リテラシーが必要です。

【お役立ち情報：最近（9 - 10月）の情報セキュリティ事故って？】

N T Tの発表によると東京オリンピック・パラリンピック競技期間中に遮断したサーバーセキュリティ攻撃は約4億5千万回ということですから凄い数ですね。

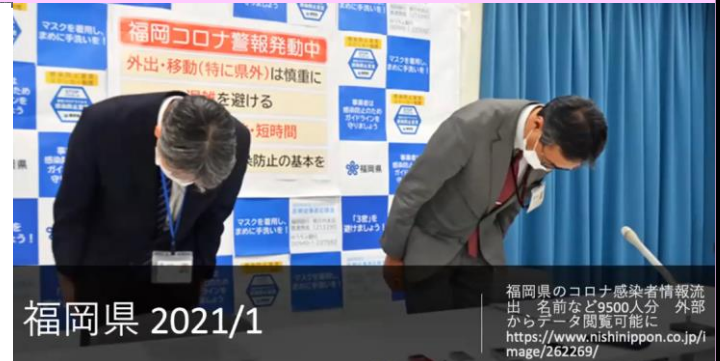
私たちは知らないうちにその脅威にさらされています。最近では痕跡も残さないようです。10月のBBTビジネスアウトプットGYMでの学びを共有します。

2カ月に1回「**サイバーセキュリティ・フラッシュレビュー** 岡田 良太郎講師（BBT大学経営学部講師、株式会社アスタリスク・リサーチ代表）」があります。これってとても参考になります。ちなみに当協会の会員さんには、この学びは<https://wstg-bbt.staging-bbt757.com/corporate/sd/063jtua/index.html>にて提供しています。

9月、10月でサイバーセキュリティ事故を報告した会社・団体が60もあります。なんとIT系以外の一般の企業が6割もあります。みなさんの会社も脅威にさらされています。テレワークが進みクラウドサービスを使う機会も増え**不注意による情報漏洩**が目立ちました。

大阪府 2021.10

- 10月1日、大阪府が府立泉北高等学校でのWebフォームからの個人情報流出について発表。9月16日にPTA進路講演会の案内と申込みフォームのURLを送信したところ、同日夜に別の教員が申込状況を確認した際に同行の生徒や保護者全員が申込者の個人情報を閲覧できることが判明した。
- 教員が回答用URLではなく編集用URLを保護者にメール送信し、さらにフォームの閲覧権限に関する設定を誤っていたことが原因。

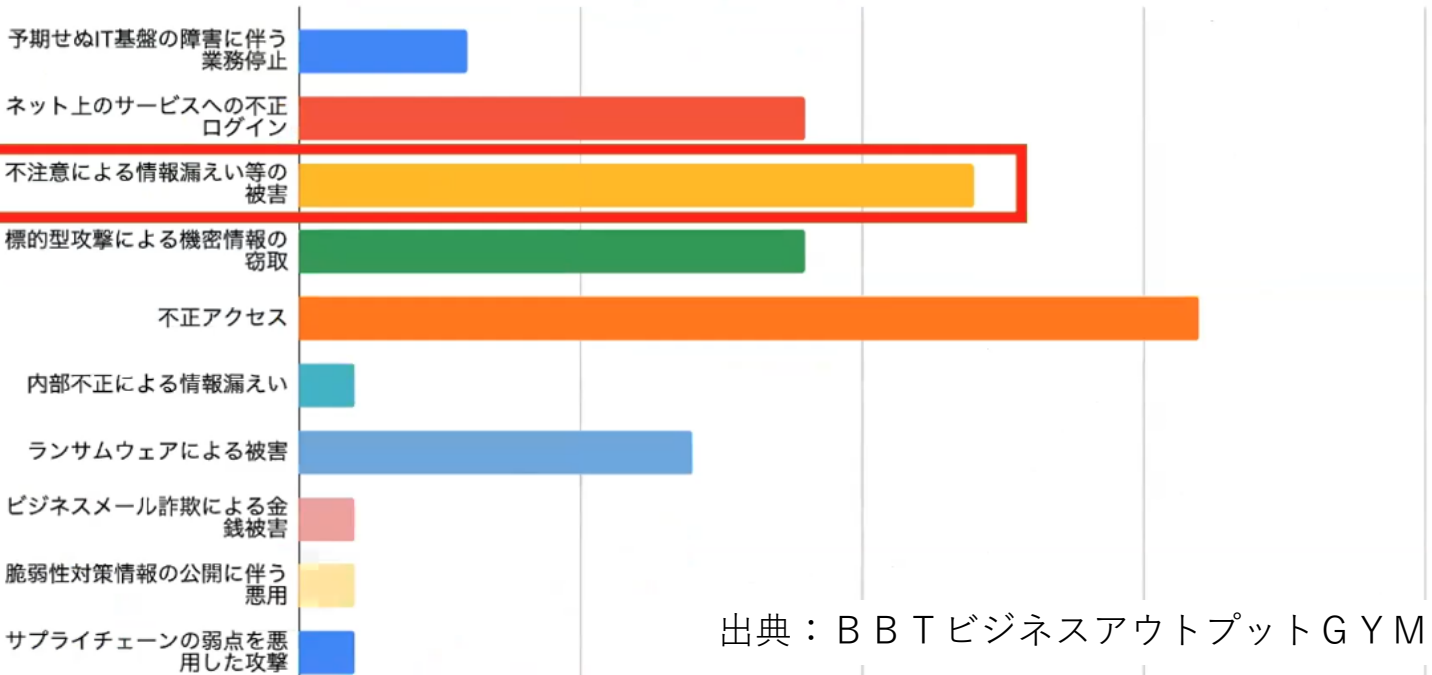


福岡県 2021/1

福岡県のコロナ感染者情報流出。名前など9500人分。外部からデータ閲覧可能に。
<https://www.nishinippon.co.jp/image/262269/>

2021/9-10

サイバー被害原因の分類



出典：BBTビジネスアウトプットGYM

大阪府と福岡県のケースは、恐らくGoogleDriveの共同編集設定のミスですね。便利な機能ですが、**見れる人を特定**しないとこのようなことになってしまいますね。今、いろんなクラウドサービスがあり便利ですが、**見える人の範囲**をよく確認する必要があります。**リンクを作るときの注意点**は、以下のとおりです。

- ①期限を設定する
- ②合言葉を入れる
- ③共通相手を指名して共有する
- ④プロジェクト終了時の後片付けフローに入れる

OWASP TOP 10 2021 (<https://owasp.org/Top10/ja/>) では**アクセス制御の不備、セキュリティの設定ミス**が多いと報告されています。

みなさんの会社で使っているクラウドサービスを一度点検してみてください。

【お役立ち情報：DX白書ってご存じですか。】

IPAは2009年から「IT人材白書」、2017年から「AI白書」を発行し、IT人材や新技術の動向について情報を発信してきました。

昨今、デジタルトランスフォーメーションの進展に伴い、ITとビジネスの関係がさらに密接となってきたことを背景に、IPAは人材、技術、そして戦略の要素を統合し、2021年10月に「DX白書」を発刊しました。

本白書は日米企業におけるDXの現状、推進への課題と対策などを包括的に解説することで、日本企業のDX推進を支援することを目的としています。

「DX白書2021」の最大の特徴は、日米企業のDX動向について比較調査を行ったことです。DXに関する戦略・人材・技術について、アンケート調査を行い、日本企業の現状や課題を考察しています。内容を少しご紹介します。日米差が大きいですね。

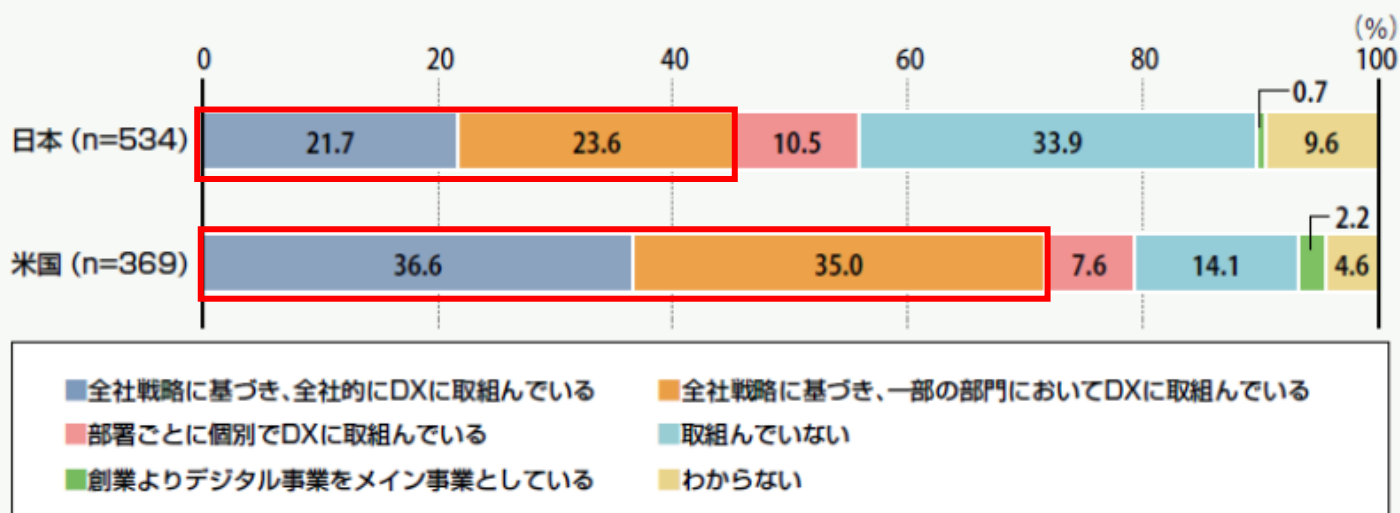


図1. DXへの取組状況

(出典：IPA)

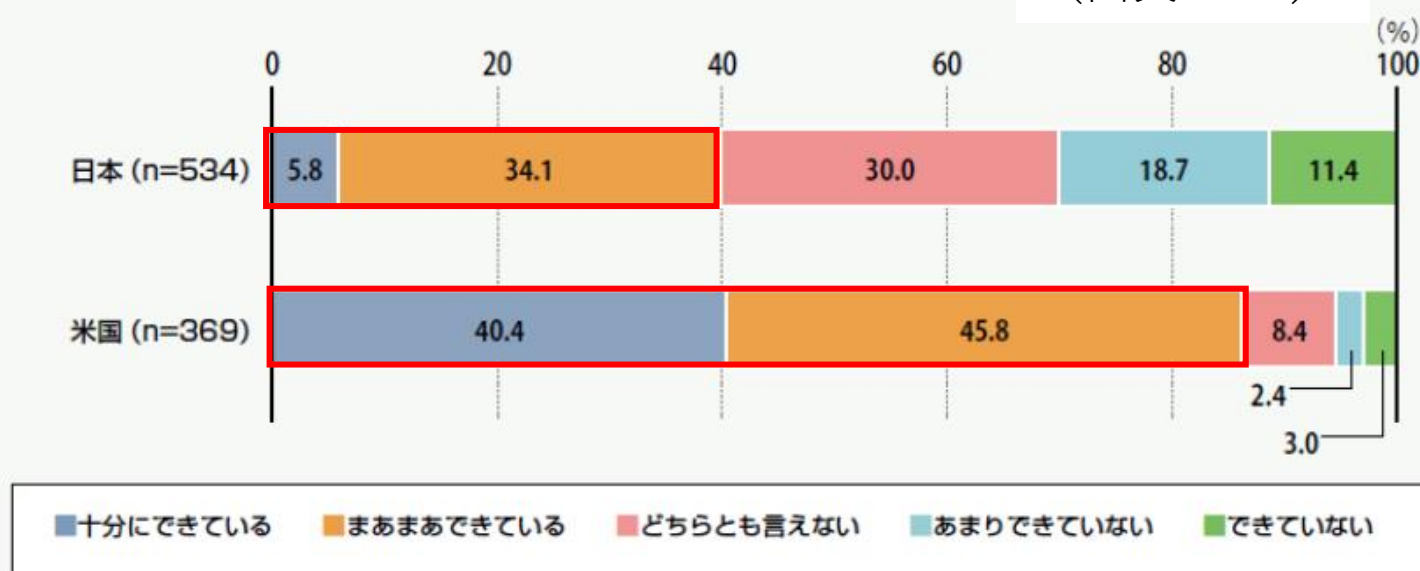


図2. 経営者・IT部門・業務部門の協調

詳細はこちらをご覧ください。https://www.ipa.go.jp/ikc/publish/dx_hakusho.html
12/8(水)にはオンラインの説明会もあります。

<原稿大募集中！ご紹介します。>

あなたの知識や経験等が他の会員さんのお役に立てば、嬉しいですね。
いつでも待ってま〜す。写真も大歓迎です。

送り先：f.kawabata@jtua.or.jp (川畑) までファイル(A4)を送って下さい。

<お申込みがまだの方はお急ぎください。>



<オンライン開催>

新春特別企画

あの大前さんに

「2021年経済から見た今後の経済見通し」を学ぼう！

新型コロナ禍で難しい舵取りを迫られている経営者のみなさん
大前さんは2021年経済をどう総括されて、今後の経済はどうなると
考えているのでしょうか。今後経済展望気になりますね。

2021年を振り返り新年をスタートするにあたりゆっくり考えるいい機会です。
今後の事業経営のヒントは、このセミナーにあります。お見逃しなく。

(Web申込先) 募集人数 **300名(先着順)**

<https://coubic.com/jtua-kinki/638169#pageContent>

【開催日時】 2022年1月13日(木)

14:00~16:00(13:50接続可能)



【参加方法】 申込時にアクセスURLをメールにてお送りいたします。

※商工会議所等からのご紹介の方は、該当欄に商工会議所
等名を必ずご記入ください。

【参加費】 **無 料**

【主 催】 (公財)日本電信電話ユーザ協会近畿事業推進部(6支部合同)

【共 催】 大阪商工会議所 西日本電信電話株式会社

【開催内容】 (14:00開演 16:00終了)

あのマッキンゼーの世界的名コンサルタント大前さんに
2021年経済から見た今後の経済見通し(仮題)を学ぼう！

<講師:大前研一氏(ビデオ)、丹羽亮介氏(株)マインドシーズ代表)>



B:
BUSINESS
BREAKTHROUGH

(株)ビジネス・ブレイクスルー
代表取締役会長
大前 研一氏

※お知り合いの経営者の方にもぜひご紹介ください。